

私たちの施設は、「福祉サービス第三者評価」を活用して、利用者サービス向上のために常に努力しています。

「福祉サービス第三者評価」を踏まえたサービス改善計画・実施状況

事業所名	山彦作業所			第三者評価受審年度	2018年度
項目	評価結果に基づく現状分析 (2018年度)	改善計画 (2018年度末時点)	実施状況 (2019年度末時点)	実施状況 (2020年度末時点)	
今後の施設の在り方や経営状況を含め早急に中・長期計画の策定が望まれることについて	中・長期計画は、ここ数年来の課題で理事会を中心に地域ニーズの把握や利用者家族の意見等を確認する方策を探っている状態である。練馬区公共施設総合管理計画が策定され、当施設は今後修繕等は行わず老朽化等で使用できなくなった場合は、建て替え又は立ち退きをするように言われて居るため、これらについて早急に中・長期的な計画が望まれる。また、相談支援事業についても4年目を迎え高い評価を得ながらも非常に厳しい経営状況にあるため、財政状況と共に早急に将来展望を図ることが望まれる。	中長期計画の策定はここ数年法人の課題としてあげられてきたが、施設の場所問題や財政状況の悪化など当面する課題に追われ、計画の立案が遅れている実情がある。理事会においては計画策定のための体制とそこへの職員の参加を検討中であり、年度末には計画の骨子をまとめていく予定である。当面する課題として建物問題が最大の課題であり、練馬区との協議を進め建物の買い取りを進めていきたい。	中長期計画については現在理事会で担当理事を決め、立案中であるが、他の諸課題(建物の問題や相談支援事業のあり方等)についても検討を進める必要があり、進捗状況としては当初の計画よりも時間がかかっている。	建物問題や財政画、また相談支援事業のあり方等について検討を行ってきているが、総合的な将来計画という段階までは深め切れていない。財政問題については黒字が計れるようになってきたが、報酬改定等の動向も見ながら今後も引き続き検討をしていく。建物問題と相談支援事業について近いうちに区との協議を検討しており、その中で今後の報告制を検討し、総合的な事業計画、将来計画を作っていく予定である。	
倫理規定や行動規範、個人情報保護など独立した規定として整備する取り組みが望ましいことについて	事業所の倫理規定や機行動規範などについては、就業規則に記載されているが独立したものとして整備されていない。また、個人情報保護についても契約書の項目として触れられているにとどまっている。こうした規程は様々な取り組みの根拠ともなるものであり、今後、必要と思われる主要な取り決めや約束事などについては、独立した規程として、法人を中心に整備していくような取り組みが望まれる。	個人情報保護に限らず各種の規程が未整備であり、その運用や活用も含め検討課題となっている。中長期計画の策定とともに、倫理規程や法人理念の整備、再確認等の作業も必要であり、今後これらの整備を行っていく。2019年度は法人や施設で未作成の規程や文書の洗い出しを行い、それらの整備を行っていく。次年度以降は各種規程や行動規範の見直しを行っていく。	個人情報保護規定については整備中、その他の規定や倫理規定については今後の検討課題。	個人情報保護規定については作成を行ったが、倫理規程については中長期計画策定のなかで法人の理念の検討の中で行う予定。	
事業所における書類の整理が不十分で、必要な書類がすぐに出ない不便さがある。今後システム化するなど文書管理者の設置が望まれることについて	事業所ではファイリングケースに書類はファイルされており、利用者個別のフォルダーが作られている。フォルダーで書類を管理しているが、ただ書類を入れておくのではなく、利用者に関する書類を順序を決めてファイルし、年度別に整理しておくことが望まれる。文書管理に関する学習も必要と思われるが、文書管理責任者のように担当者を決めて、少なくとも担当職員は常にファイル内の整理整頓に配慮し、書類の紛失予防のためにファイリング方法等の仕組みを検討して明文化しておくことに期待したい。	文書管理やそれらの整理は運営の効率化や無駄の削減を図る上で不可欠である。また、情報の漏洩は近年大きなリスクとなっている。さらに支援の質の確保と向上のためにも文書管理、情報の整理は重要な課題であるという認識の元、各種書類の管理と運用を行っていききたい。文書管理については可能な限り電子化(PDFファイル化)し、文書の紛失を防ぐことと、職員間での情報共有化を図っている。そのための運用規程等を考えていきたい。	2019年度はパソコンを入れ替え、情報管理を進めている。ウイルス対策や情報漏洩対策を一定程度進められたが、情報の共有化や一元化に潰れては今後の課題となっている。	ウイルス対策や情報漏洩に対する対策を一定程度行ってきた。NASを導入し情報やファイルの一元管理を行い、紙ベースの書類のを減らしているが、効率的な運用までは至っていないので今後の課題となっている。	

※この様式は、「練馬区障害者日中活動系サービス推進事業運営費補助金交付要綱」等の規定に基づき、利用者の皆様にお知らせするためのものです。

※「項目」は、第三者評価における「さらなる改善が望まれる点」などを参照に、施設が独自に決めています。

※第三者評価の結果は、施設において公表しています。